公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Drawing				公表日	令和7年 3月 30日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境 制・運 備 営 ・ 体	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。			・Drawing通所をしている児童には直接支援を行っていますので、個々の教材はその時に必要なものを適宜利用しています。そのため、必要に応じて、Drawingで使用している教材を先生方に見ていただいたり、教材をどのように使用したかの説明も行っています。	・訪問支援において、教材をしようする場面があったり、園や学校に教材をお貸しする機会があれば行っていきます。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。			・保育所等訪問支援事業開始1年目はDrawingの通所利用者に限らせていただきましたので、人員配置数1名で特に問題ありませんでした。	・来年度より、知識と経験のある訪問員を増員予定です。通所利用児童以外に、不登校児（学年中に連続または断続的に30日以上学校を休んでいる児童）も対象に支援を行っていきます。	
業務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。			・Drawingは多機能型のため、訪問員以外の職員は通所サービスの支援を行っています。	・来年度より、訪問員が増員しますので、目標設定と振り返りを密に行っていききたいと思います。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。			・今年度はじめて評価表による、ご意向等の把握をさせていただきました。今後の支援の参考にさせていただけるよう、また次年度の評価を受けて業務改善につなげていききたいと思います。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。				・来年度より、訪問員1名増員予定。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			・今年度はじめて評価表による訪問先からの評価を受けています。評価内容を真摯に受け止めて業務改善につなげていきます。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2		・資質向上のための研修を受講する機会を年に4回程度受講しています。	・今後資質向上のための研修に参加し、訪問スタッフと研修内容について共有していきます。	
	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2		・訪問を開始する前にDrawingの発達検査（新版K式発達検査2020）を受検していただき、発達段階と実年齢の両方を考慮しながら計画を作成しています。	・保護者のニーズに寄り添いながら、今現在必要な支援はなにかを丁寧に説明させていただきよう努めています。	

9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2		・現在はDrawing通所の児童が保育所等訪問を利用されているため、情報は共有し、デイで行う課題については検討・振り返りを行っている。	・今後は通所がない児童の利用も想定されるため、その場合は訪問スタッフ同士で検討を行っています。
10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2		・支援計画作成の際、保護者からの依頼内容を説明し、支援計画内の目標について、ご相談させていただいています。	・必要に応じて計画作成前に園や学校の方針などにも耳を傾けていきたいと思っています。
11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		・来年度は増員予定のスタッフと共有していきます。	
12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2		・お子さんに応じて、Vineland-II 適応行動尺度・ポータージェットチェックリスト・感覚プロファイル・新版K式発達検査2020を使用しています。	・その他のアセスメントツールも検討していきたいです。
13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2		・ガイドラインに今一度目を通し、ガイドラインに沿った支援内容であることを確認いたしました。	・今後も定期的にガイドラインに目を通して確認作業を怠らないようにしたいと思います。
14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。				
15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2		・来年度は増員予定のスタッフと行っていきます。	
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2		・来年度は増員予定のスタッフと行っていきます。	
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2		・尊重しているつもりにならないよう、カンファレンス時に確認をしています。	・カンファレンスが希薄だと訪問先の方針を見失いやすいと思うので気をつけていきたいです。
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2		・実施記録を報告書としています。支援の検証・改善に繋がるよう、努力していきます。	・一方的にならないよう、先生方の意見を求めて改善に繋がるようにしたいと思います。
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2		・ご利用の度に報告書をお渡しし、フィードバックを行っています。依頼内容の変更や追加などもお伺いできていると思います。	・支援計画は半年ごとの更新ですが、必要に応じて支援計画の見直しは行っていきたいと思っています。特に、年度が変わるときには先生やクラスメイトが変わることも鑑みて保護者さんの依頼内容の確認をしています。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2		・瀬戸市障害者相談支援センター（児童）の相談員さんと共に、初回カンファレンスに向き、円滑にサービスを開始できています。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		・必要に応じて連携し、体制を整えている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2		・今期は就学されるお子さんが数名いらっしゃいます。就学後は訪問先が園から学校へ移行するため、ご家族や学校とタイミングを相談しながら情報共有を行っていく予定です。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2		・外部のスキルアップ研修に参加、必要に応じて専門機関からの助言を受けています。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	2		・すでに利用の決まっている支援が優先のため、毎回は難しいですがスケジュールが合う時は参加しています。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2		・訪問やカンファレンスの都度、できる限り報告を行っています。サービスをご利用されていらっしゃる保護者さんは特に共通理解ができてきているように思います。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2		・形式だったプログラムは提供していません。	・来年度はDrawing独自のプログラムを講座形式で提供させていただく予定です。。
保証	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2		・ご契約の際の説明させていただいております。補足が必要な説明事項があった際には速やかに対応しています。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2		・訪問先によっては先に相談員さんによる説明の機会を設けております。Drawingが直接説明させていただく際には発行所等訪問支援ガイドラインの内容を訪問先に理解していただけるような説明の仕方を心がけています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2		・例えば、訪問するときにお子さんにはどのように伝えるのか、または伝えない方がよいのかなど、お子さんの様子によって保護者さんと相談して訪問する時のスタイルは柔軟に対応しています。	・Drawingのスタッフが訪問することに対する抵抗感など、お子さん方からはあまり聞けていないので、訪問員が観察している状況をどのように感じているか、尋ねる機会があれば設けていきたいと思っています。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2		・同意を得ています。また、依頼内容に変化があった場合は改めて訪問させていただく時間などの相談を行っています。	

保護者等への説明等	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2		・訪問やカンファレンスの報告でご自宅へ訪問することも多いため、最近の様子や出来事を伺うことができ、支援方針を適宜立案して保護者さんへ提案できています。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		2		・来年度の試みとして、子育てサポート及び家族支援イベントを不定期で開催予定です。保育所等訪問の利用さんも対象になります。
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2		・お子さんからの相談や申し入れはないです。	・不登校になりやすいお子さんに関しては、お子さんの意見もじゅうぶんに重視していきたいと思います。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		2		・今年度はホームページを一新する作業に注力してしまい、あまり発信ができていませんでした。評価表の公示と共に新しいホームページのご案内をさせていただき、発信も充実させていきたいと思います。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		・Drawing内では従業員が目を通した後は速やかにファイリングするよう努めています。	・園や学校への報告書の受け渡しは、封書に入れてお渡ししているところ、直接先生へ手渡し、保護者さんを介して先生へ手渡すなど、各々の方針があるため、十分に留意できているかどうか今一度保問先とも共有したいです。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2		・報告書をお渡しするだけでなく、報告内容を直接口頭で説明するよう、できる限り行っております。	・事業所とご家庭の都合により、時間の確保が難しい場合において、どのように伝達するべきか考えていきたいです。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2		・毎日過ごす場である園や学校の先生方のお話に耳を傾け、求められれば必要に応じて見解をお伝えしています。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2		・毎利用日または2回に一回はカンファレンスをさせていただいています。気をつけている点は、カンファレンスの時間を守ること、カンファレンスの内容について、報告書への記載の仕方などです。	・訪問先の都合でカンファレンスが延期になる場合もありますが、保護者さんにも説明し、次回カンファレンス日を設定しています。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2		・当日訪問が可能な場合は訪問後に、通所があるお子さんの場合は送迎時に報告をしています。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2		・訪問開始から少しずつ信頼関係を築いています。先生方からのお話も伺うことで、親身に寄り添えるよう努力していきます。専門的な助言ができるスタッフの配置をしています。	

非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2			・こちらは今後、先生方とも相談し、訪問先の方針に則って、園や学校の訓練に参加可能であれば実施していきます。また、訪問側のマニュアルの策定も行っていきます。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2		・現在ヒヤリハットは起きていないため、今後そのような事例がありましたら直ちに取り組みます。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2		・研修義務に応じて研修の機会を確保しています。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2		・該当児童がおりません。	